

市報 やまぐち

2012

8/1

August

No.164

Web サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

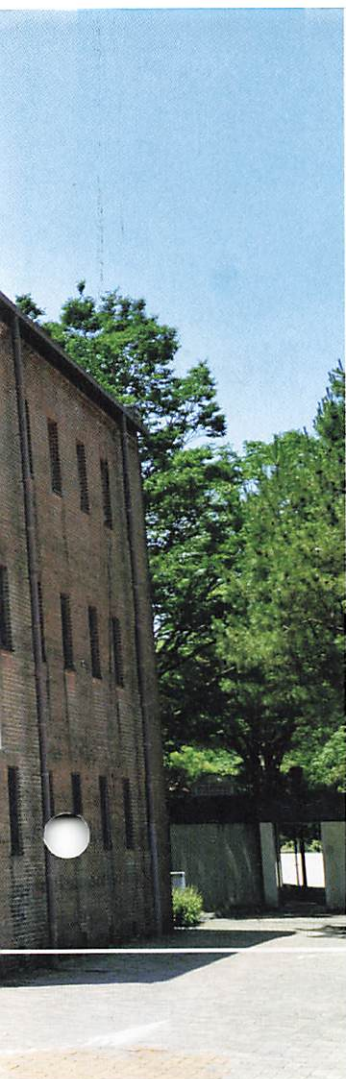
e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp

C・S 赤れんがは開館20周年を迎えました

P.2

給食大好き!!

山口市発祥の家庭料理「チキンチキンごぼう」



整備前の赤れんが
長い間使用されず、
大量のツタに覆わ
れていました。
(平成2年ごろ撮影)



クリエイティブ スペース

C・S赤れんがは 開館20周年を迎えました

旧県立山口図書館の書庫として、大正7年に建てられた赤レンガの建物は、平成4年に「C・S赤れんが」として生まれ変わりました。今回は、開館以降、気軽に利用できる文化芸術の発表の場として親しまれているC・S赤れんがの魅力をご紹介します。

■問い合わせ 市文化政策課 (☎083-934-2718)

赤れんがは、旧県立山口図書館の増設書庫として、大正7年に建設された建物です。

その後、大正12年に県立図書館が移転したため、県教育会館の付属施設として利用されました。

しかし、昭和58年に教育会館を移転するに伴い、取り崩すことになりましたが、赤レンガ造りの建築物と周辺環境を文化の場として保存・再生しようとする市民団体「赤レンガの会」の活動により、取り壊されることはなくなりました。

その後も保存・再生に向けた取り組みが続けられていた中、国のふるさと創生事業を活用し、市によって改修することが決まりました。

こうして、芸術文化の創造・鑑賞・交流の場として、平成4年、現在の「C・S赤れんが」によりがえったのです。

よみがえった赤れんが



赤れんがのチェンバロは、平成7年に製作したもので、大内氏の家紋「大内菱」とフランシスコ・サビエルの紋章を施しています。爪はコンドルの羽軸を使っており、優雅で華やかなその音色は聴く人を魅了しています。

市民に親しまれる交流の場

市民に親しまれる文化・芸術活動の発表の場として、1階ホールは、個展やサークル活動などの美術展・写真展などに、1000人収容できる2階ホールは、音楽や演劇公演などに適した環境を備えています。

この赤れんがは、それぞれのスペースが利用しやすい大きさと利用料金も安いことから、気軽にご利用いただくことができます。利用率は年間80%を越えており、ほとんど毎日、何か催し物が開催されている状況です。



にぎわうサロンの様子

なお、1階のサロンスペースも常時開放しておりますので、休憩場所としてお気軽にご利用ください。



赤れんがは、平成5年にベルカ賞(特に優れた改修等を行った建築物に表彰する制度)を受賞した建物です。同じ年には、京都の南座なども受賞している名誉ある賞です。

クリエイティブ・スペース赤れんが

- 開館時間 9時～17時
(夜間催し物がある場合は22時まで)
- 休館日 毎週月曜・年末年始
(祝日の場合はその翌日)
- 場所 中河原町5-12
- 問い合わせ ☎083-928-6666

Creative Space AKARENGA

芸術文化の創造と鑑賞と交流の場



日色ともゑとマリオネット

8月26日(日)
美しい日本語と、心癒やす音楽でおくる、朗読とコンサート。こんな時代だからこそ「ほんとうのやさしさ」をお伝えします。(10ページ参照)



展示会の様子

赤れんがのあゆみ展

8月22日(水)～26日(日)
懐かしい写真や資料の展示
赤れんがの歴史を振り返ります。(22日はチェンバロミニコンサート有り)



岩淵恵美子チェンバロリサイタル

12月24日(月・祝)
赤れんがのチェンバロ製作者の佐藤裕一氏もお迎えしての演奏とトーク。チェンバロの美しい音色を堪能してください。



しげやんダンスでつなぐ「人」と「まち」
10月28日(日)～11月3日(土)
ダンサーの北村成美氏が1週間山口に滞在し、ワークショップや公演を行います。ダンスで新たな出会い・交流を楽しみませんか。

赤れんがの開館20周年を記念して、今年には、特別展やリサイタルなど盛りだくさんなイベントを開催します。
8月22日(水)から、1階の展示場では、改修前の写真や、保存・再生までの道のり、建設中の様子などがわかる、「赤れんがのあゆみ展」を、2階のホールでは、チェンバロミニコンサートをを行います。
全国的にも珍しいコンドルの羽軸を使った赤れんがのチェンバロ。その華やかで美しい音色をこの機会にぜひ体感してください。

赤れんがの昔と今
「時を刻んだ20年」
開館20周年記念事業



山口克己回顧展

11月21日(水)～12月2日(日)
若手芸術家の育成にも力を尽くされた画家の故山口氏の回顧展。その遺志は、やまぐち新進アーティスト大賞に引き継がれています。

在りし日の山口さん
(山口県生涯現役推進センター提供)

過去から現在、そして未来へ愛され続ける

「赤れんが」

赤れんがの保存時から、関わりが深く、多くの美術館や大学などに作品が展示され、現在も精力的に創作活動に取り組み続けている、田中米吉さんにお話をお聞きしました。

赤れんがの保存・再生活動に関わる エピソードについて

当時の赤れんがは、建物は荒れ果て、天井が抜けて屋根に穴が空き、雨がぼたぼた落ちる大変な状態だったんだよ。

そんな酷い状態だったけれども、若者たちが、この場所で絵を描いたり、音楽を演奏したり、自由に自分の中の可能性を表現できる活動の場にしたという欲求があつてね、こうした若者たちの強力な気持ちに突き動かされ、建物を保存・再生しようとして立ち上がったわけだ。

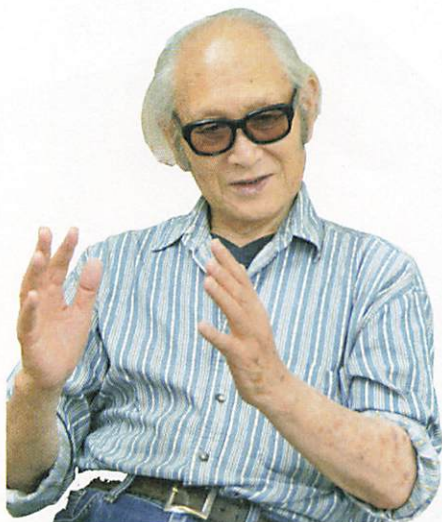
建物の魅力について

レンガ造りの頑丈な感じと、昔の建物ももっている威厳・崇高な雰囲気が見る者を魅了するね。周囲の環境も建物に調和していて、自由に表現する場として良い環境だと思うよ。

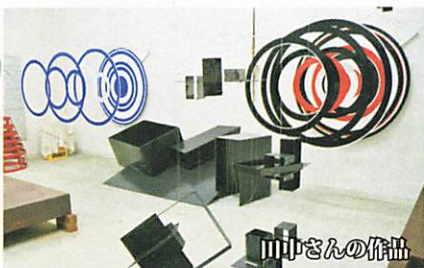
赤れんがの利用について

私も約10年前に利用させてもらった。まだ未熟なものだったが、赤れんがの雰囲気を生かし作品を展示したよ。私の作品を創造する一つのチャンスをもらったと思う。

今後、あの建物を生かし、市民の創造の場として自由に使ってもらいたいね。若者には、自分の持っているものを思い切ったやり方でぶつけて、自分の道を探して欲しいと思うよ。



田中 米吉 (たなか よねきち)
1925年生まれ。本市出身の彫刻家。「赤レンガの会」のメンバーとして、赤れんがの保存に深く関わっていた。



田中さんの作品

TANAKA YONEKICHI



岩本 伸也 (いわもと しんや)
1982年生まれ。長崎県出身。山口大学在学中に演劇を始め、演出・出演・制作・脚本など幅広く手がける。

次に、赤れんがを良く利用されている、劇団「タッチ・ザ・ボンネット」代表 岩本伸也さんに、赤れんがの魅力などについてお聞きしました。

利用したきっかけ

私が大学生の時、赤れんがで公演をしている劇団の手伝いをしたのがきっかけです。大学生で演劇をしている者たちの中では、赤れんがはいわば登竜門のような存在でした。

演劇ホールとしての魅力

赤れんがは、客席を含め、舞台や音響など、全て自分たちで設営しないといけません。大変だけれども色々な表現ができ、とてもやりがいがあります。また、会場が大きくないので、客席との距離が近く親密になれるところが好きです。

普段演劇を見ることがない人でも映画を見に行くみたいに、気軽に、演劇に触れてもらえると嬉しいです。

IWAMOTO SHINYA

最後に、市の担当者から開館20周年を迎えた赤れんがのこれからについてお話しいたします。

気軽に借りられる芸術文化発表の場

赤れんがは、若い方やサークル活動をされる方など、どんな方にも文化・芸術活動の発表の場を気軽に提供していただくことができます。こうした場があることが、創造活動の後押しとなつて、山口の芸術文化がもっと盛り上がるかと考えています。

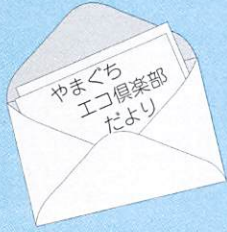
開館20周年を迎えて

ここを文化創造の場として再生しようと汗を流された方々の努力や、この20年の間に利用された芸術文化を愛するたくさんの方々の思いを大切に、これからも多くの方に親しまれる文化施設を目指していきます。また、開館20周年を記念して、多彩なイベントを予定していますので、ぜひ足を運んでください。



市文化政策課
主査 丸本 華代

MARUMOTO HANAYO



「やまぐちエコ倶楽部」の異物混入調査結果報告 紙製容器包装の排出状況

「やまぐちエコ倶楽部」では、毎年分別収集された資源物の品質向上のため排出状況の調査を行っています。今年度は、紙製容器包装について調査しました。

■問い合わせ やまぐちエコ倶楽部（市リサイクルプラザ内 ☎ 083-927-7122）

調査内容

6月2日（土）に市リサイクルプラザのストックヤードで、地域のステーションに排出された約700kgの紙製容器包装について、「正しく分別されたもの」と「それ以外のもの」が混入している状況を手作業により約50人で調査しました。

再確認！紙製容器包装って

紙製容器包装は、紙袋、包装紙、紙箱などのマークの標示がされているもので、商品を入れたり包んだりしている紙製の容器が対象となります。また、集められた紙製容器包装は、最終的にリサイクル工場へ送られてダンボールや板紙になっています。



調査結果 正しく出されたのは84%

今回の調査では、正しく分別されたものが84%で、異物（それ以外のもの）が16%となり、ほとんどの方が正しく分別されていましたが、平成22年度に実施した調査と比べると、若干ではあります異物の量（5%）が増えていました。

異物の中で多かったものは、ノートや雑誌、封筒、パンフレットなどの雑がみで39kgの混入があり、段ボールも14.5kgが混入しているという結果となりました。

	重量 (kg)	重量比 (%)
正しく分別されたもの	589.9	84
異物	110.1	16
合計	700.0	100

さらなる分別推進のために 調査の現場から

紙製容器包装でいうと異物はこれ！

■出す前に除去する必要がある異物の例

プラスチック製の注ぎ口



→ 切り取って「プラスチック製容器包装」へ

ティッシュの箱についているフィルム



→ 外して「プラスチック製容器包装」へ

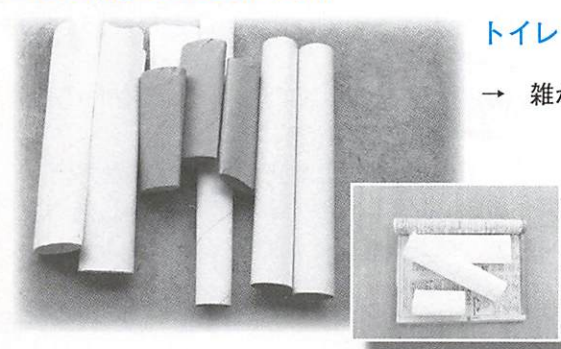
紙袋の持ち手（紙以外の素材でできたもの）



→ 外して「プラスチック製容器包装」へ

※布の場合は「燃やせるごみ」へ

■出し間違いの主な異物



トイレットペーパー、キッチンペーパーの芯

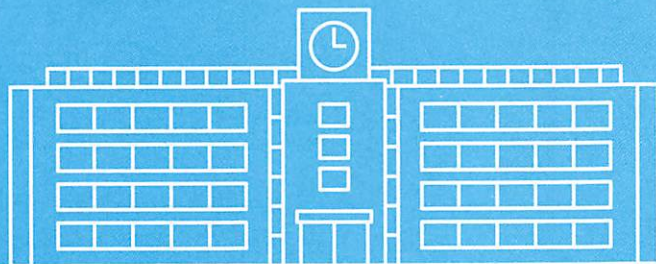
→ 雑がみへ ※つぶして本などの間にはさんで出しましょう。

分別する意図は、リサイクルをするにあたり、同じ種類の資源物を集めることです。

一人ひとりが出す異物は少量でも市全体から集まれば膨大な量になります。ルールを守って正しく分別してください。

第22回

市民大学講座



市民大学講座では、市民の皆さんの文化や芸術等に対する意識の向上を図るため、多彩な分野の第一線で活躍している著名人を講師にお招きし、講師自らの経験や研究に基づく生の言葉を聴く機会を市民の皆さんに提供するものです。ご興味・ご関心をお持ちの方はお気軽に受講してください。

9/21 (金)

■場所 市民会館大ホール
■時間 18時30分～20時

たけじょう
あき 竹城

【女優】



『キラキラ輝く人生のために』

幼いころから、テレビで観た宝塚歌劇団に憧れてモダンダンススクールに通う。下積みを経て、二十代後半に出演したテレビ番組でブレイク。東北弁のキャラクターが受けてバラエティー・ドラマ・映画・CMと出演依頼が殺到。現在ではドラマにスパイシーな味を添える役者として、なくてはならぬ存在として活躍中。

10/25 (木)

■場所 山口南総合センター
■時間 18時30分～20時

きくち ゆきお
菊地 幸夫

【弁護士】



『出会いの人生から学んだこと』

中央大学法学部卒業。司法試験に合格し、弁護士となる。元司法研修所刑事弁護教官。また、社会福祉法人練馬区社会福祉事業団理事も務める。日本テレビ「行列のできる法律相談所」、「爽快情報バラエティー スッキリ!!」にレギュラーとして出演。優しい愛妻家のキャラクターで活躍している。

11/11 (日)

■場所 徳地文化ホール
■時間 14時～15時30分

どくまむし さんだゆう
毒蝮 三太夫

【タレント】



『上手に年をとることは、人生の有終の美ですよ。元気で長生きしよう!』

12歳の時、舞台「鐘の鳴る丘」でデビュー。「ウルトラマン」「ウルトラセブン」の隊員役で人気を博す。1968年日本テレビ「笑点」出演中に立川談志の助言で芸名を本名・石井伊吉(いよし)から「毒蝮三太夫」に改名。現在、TBSラジオの生放送は44年目に突入。NHKテレビの介護百人一首でもおなじみ。熱烈な巨人ファンとしても有名。

■聴講券発売日時および発売場所

- 8月20日(月)8時30分から…市生涯学習・スポーツ振興課(山口総合支所3階)、市内各地域交流センター、市民会館、山口情報芸術センター
※山口情報芸術センターのみ、土・日曜も販売。
※聴講券販売については、完売になり次第終了します。(市民会館/1,500席、山口南総合センターおよび徳地文化ホール/500席)
※聴講券の販売については、市生涯学習・スポーツ振興課までお問い合わせください。(土・日曜・祝日は除く)
※聴講券は各会場のみ有効。聴講券の余りがある場合、当日券の販売有り。

■料金 各講座それぞれ1,000円(バラ売りのみ)

■その他 手話…全講座実施

要約筆記…市民会館、徳地文化ホールのみ実施
託児所…徳地文化ホールのみ実施(要申し込み。問い合わせ…徳地地域交流センター ☎0835-52-0217)

■問い合わせ 市生涯学習・スポーツ振興課 (☎083-934-2912)

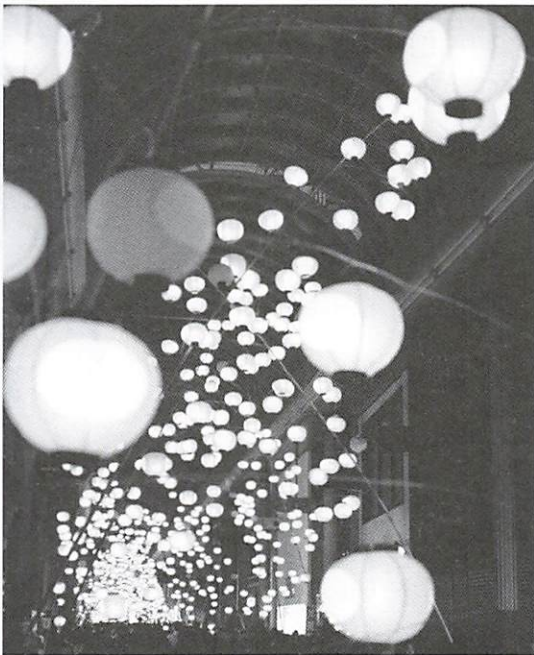
8月4日(土)、5日(日)、7日(火)

山口七夕ちょうちんまつり

■問い合わせ

山口市ふるさとまつり実行委員会
 (〒753-0042 惣太夫町 2-1 山口市観光コ
 ンベンション協会内 ☎083-932-3456
 「山口七夕ちょうちんまつり」で検索)

山口七夕ちょうちんまつりは、今から約600年前、室町時代に大内氏の第26代盛見公が父母の冥福を祈り、七夕盆の夜に笹竹の上に高灯籠を灯したことが由来とされ、今なお続く、歴史と伝統のあるお祭りです。日本三大火祭りの一つにも数えられており、現在も約10万の蠟燭ひとつひとつに火を灯しています。今年も、皆さんがお越しいただきやすいように土・日曜と、旧暦の七夕に開催します。ちょうちんの紅くやわらかな光に包まれた、幻想的な山口をぜひご堪能ください。



■主なスケジュール

◆4・5・7日

・19時30分…紅ちょうちんの点灯(商店街など)

◇4日

・18時…つながる大殿七夕ちょうちんの灯(香山公園)
 ・19時…ちょうちんツリー(山口総合支所前庭)
 ・20時…ちょうちん御輿・山笠の巡行(早間田交差点付近、パークロード～新町～駅通り)

◇5日

・14時～21時…よさこい(商店街、亀山公園ふれあい広場ほか)
 ・19時…ちょうちんミニツリー(パークロード、駅通り)
 ・19時30分…すだれちょうちん(パークロード)

その他、亀山公園ふれあい広場や山口総合支所前庭など、各所でイベントを実施します。詳細は、市内の観光案内所などに設置のチラシ、観光ウェブサイト「西の京やまぐち」でご確認ください。

紅ちょうちんの火付けなどをお手伝いください

皆さんの手でまつりを盛り上げませんか?お気軽にお問い合わせください。



■期日 8月4日(土)、5日(日)、7日(火)

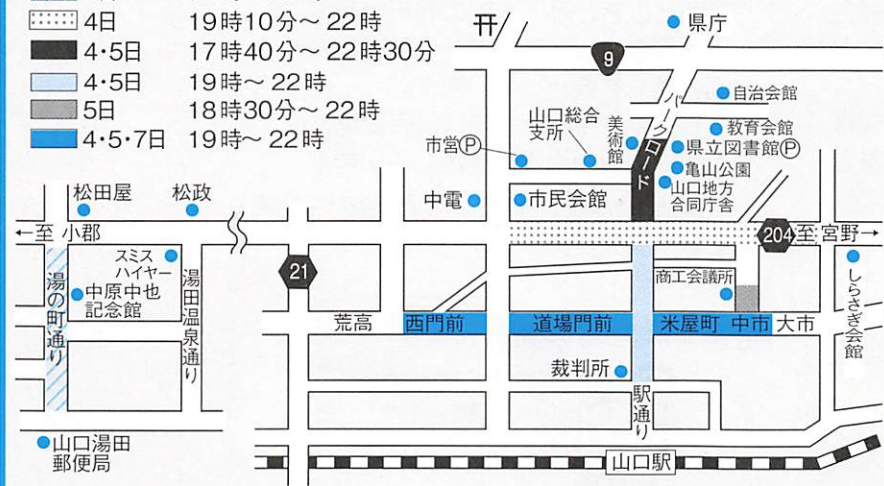
■内容 ちょうちんの火付け・会場の準備・片付けなど

■申し込み・問い合わせ

各日程の前日までに、電話、ハガキ、FAXで、代表者氏名・〒住所・電話番号・参加人数を明記の上、実行委員会

交通規制(車両通行止め)のお知らせ

- 4日 18時～22時
- 4日 19時10分～22時
- 4・5日 17時40分～22時30分
- 4・5日 19時～22時
- 5日 18時30分～22時
- 4・5・7日 19時～22時



■バスの運行

バスは臨時運行路を通行します。最寄りの営業所でご確認ください。

■山口総合支所

8月4日(土)、5日(日)は、山口総合支所前庭は、まつりの会場となるため車の駐車はできません。

※戸籍の届け出をされる方の駐車スペースは有ります。

「平成24年第4回市議会定例会」を開催

6月11日から28日の間、「平成24年第4回市議会定例会」を開催しました。

市長は、第63回全国植樹祭の報告や節電への取り組み、企業進出の状況など、市政の概況について報告しました。

また市長から、住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理等に関する



定例会の様子

通学路の緊急合同点検を実施

7月3日から27日の間、地区ごとに、学校、教育委員会、道路管理者、山口警察署、山口南警察署、地域代表者などの関係者により、各小・中学校から報告のあった通学路上の危険箇所について、緊急合同点検を開催しました。

点検では、見通しの悪い交差点や歩道が狭く車の交通量の多い箇所、横断歩道の白線が消えかけているところなど、各学校がリストアップした危険箇所の現場に向き、現状の問題点を確認しました。

また、点検後は危険箇所ごとに具体

条例や、使用料及び手数料の設定に関する指針（平成23年3月策定）に基づく使用料見直しに伴う施設の関係条例

改正案など61議案と4件の諮問が、議員から1件の議案、委員会から国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書の提出についてなど3件の議案が提出されました。

審議の結果、すべて可決されました。

市議会事務局

☎083・934・2854

的な改善策について話し合い、道路管理者や地域等に協力を依頼することなどを確認しました。

市では、今回の点検結果を踏まえ、今後も関係機関や地域と連携し、危険箇所の改善に向けて取り組んでいきます。

学校教育課

☎083・934・2800



大蔵地域での点検の様子

市有施設の使用料を改定します

市行政改革大綱推進計画や市財政運営健全化計画に基づき、市有施設の使用に関して負担の公平性や平等性を図るため、使用料を見直し、関係する条例52件を改正しました。今後、改定時期に向けて、該当施設でもポスターやチラシ等でお知らせしていきます。詳細は各施設にお問い合わせいただくか、市ウェブサイト（表紙参照）をご覧ください。

■問い合わせ 市財政課 ☎083-934-2750

◇ 見直しの方法

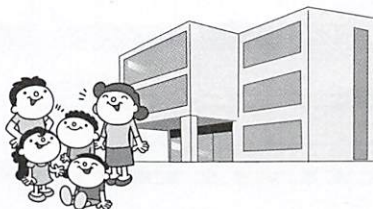
統一した基準に基づき、施設の管理運営コストを算定したうえで、各施設が提供する行政サービスの目的や機能について、公共性の高さや日常生活における必要性、民間等で同種のサービスが提供されているかなどを考慮し、管理運営コストについて公費（市）と受益者（利用者）の負担の割合を設定しました。

◇ 改定時期

平成25年1月1日使用分から
 ※指定管理者が管理する施設は、平成25年4月1日使用分から

◇ 主な改定内容

- ・同種同様な施設の使用料を統一し、地域間でのばらつきを是正しています。
 - ・原則として、昼・夜間の利用時間帯による料金差（1時間あたりの使用料単価の差）を廃止しています。
 - ・冷暖房費や照明施設等、付帯設備の使用料は実費相当額に改定しています。
- ※見直しにより、増額となる施設や減額となる施設があります。



お知らせ

軽度・中等度難聴児 補聴器購入費等助成制度

これまで、障害者自立支援法で助成が受けられなかった軽度・中等度難聴児童への補聴器購入について、言語コミュニケーション能力の習得および学習機会の確保による健全な発達を支援するため、新たに県の補助金を活用して、費用の一部を助成する制度を創設しました。

詳しくは、補聴器購入前にご相談ください。

■対象者（全てに該当する方）

- ・満18歳未満の児童
- ・両耳の聴力が30デシベル以上で、身体障害者手帳の交付対象にならない児童、または、聴力が30デシベル未満でも医師が補聴器の効果を認めた児童

・市民税所得割額が46万円を超える人がいない世帯

■申請先

山口総合支所福祉総合相談窓口、各総合支所総合サービス課

市高齢・障害福祉課（☎0833

・934・2794 FAX0833・934・2647）

緑のカーテンコンテスト 応募受付中

市が開催する「緑のカーテンコンテスト」に、家庭や事業所、学校などで取り組まれた緑のカーテンの写真を募集しています。

■対象 市内の家庭、事業所および学校で、緑のカーテンを設置している個人または団体

■募集部門 ①家庭部門、②事業所部門、③学校部門

■表彰 各部門から優秀作品数点を表彰（副賞を進呈）

※各部門の最優秀作品は県のコンテストに推薦

■申込 8月31日（金・消印有効）までに、直接、郵送またはEメールで、所定の応募用紙に緑のカーテンの写真添付して市環境政策課（〒753・0214大内御堀496

☎0833・941・2181

✉kanky@city.yamaguchi.lg.jp）

または直接、各地域交流センター



昨年度家庭部門最優秀作品

● 山口総合支所	〒753・8650	亀山町2・1	☎0833・9222・4111
● 小郡総合支所	〒754・8511	小郡下郷609・1	☎0833・9733・2411
● 秋穂総合支所	〒754・1192	秋穂東6570	☎0833・9844・2121
● 阿知須総合支所	〒754・1292	阿知須2743	☎0833・6654・1111
● 徳地総合支所	〒747・0292	徳地堀1744	☎0833・5521・1112
● 阿東総合支所	〒759・1512	阿東徳佐中3417・2	☎0833・9560・0111

※応募用紙は、各総合支所、各地域交流センターに備え付け。市ウェブサイト（表紙参照）からも入手可

「第18回中原中也賞」 作品募集

日本の近代詩史に偉大な足跡を残した、山口市出身の詩人 中原中也の業績を顕彰するために創設された「中原中也賞」。市では作品を募集しています。

■対象 平成23年12月1日～平成24年11月30日の間に刊行された現代詩の詩集（奥付入りの印刷された詩集）

■応募方法 12月9日（日・消印有効）までに、必要事項を明記の上、詩集3部を添えて送付。送付先は中原中也記念館（〒753・0056湯田温泉一丁目11・21 ☎0833・9322・6430）

■賞 正賞：中原中也ブロンズ像／副賞：100万円

■発表 平成25年2月の選考会終了後、報道機関を通じて発表

市文化政策課

市史編さん講演会10

【防長の^{そまやま}杣山からひろがる材木の道】
今回で10回目となる山口市史「史料編」編さん講演会を開催します。

源平の争乱で焼失した東大寺を再建した重源と、その用材を供給した徳地の材木がどのように東アジアへ流通していったかを知ることができます。ぜひお越しください。（無料）

■日時 8月25日（土）14時～16時

■場所 県立山口図書館レクチャールーム（後河原150・1）

■講師 伊藤幸司氏（県立大学国際文学部准教授）

■定員 250人（先着順）

市文化政策課市史編さん室

☎0833・9733・24300 FAX0833・9733・24309

✉shensan@city.yamaguchi.lg.jp

自衛官募集

【航空学生、一般曹候補生】
および自衛官候補生

自衛隊山口募集案内所では、左表の通り、航空学生、一般曹候補生、自衛官候補生を募集します。

募集種目	応募資格	試験日	受付期間	
航空学生	18歳 ～21歳未満	9/22 (土)	8/1(水) ～9/7(金)	
一般曹候補生	18歳 ～27歳未満	9/17 (月)		
自衛官 候補生		男子		9/17 (月)
		女子		9/23 (日)

自衛隊山口募集案内所(中央四丁目4・12 ☎0833・9255・8231)

県営住宅入居者募集

【募集团地】 西大橋、大内御堀、平川、恋路(単身申込可能住宅有)、宮野下、赤妻、平井、上東、朝田特定公共賃貸住宅(随時申込受付中)

【申込資格(すべてに該当すること)】

現に同居または同居しようとする親族がある方/住宅に困っていることが明らかかな方/法で定める収入基準に該当している方/申込者、同居または同居しようとする親族が、暴力団員でないこと

※単身申込可能住宅の単身申し込みには、別途条件有

【入居予定時期】 10月下旬

【申込】 8月20日(月)～31日(金・消印有効)の間に、所定の様式で山口県施設管理財団山口支所(〒753-0082水の上町1-7 ☎0833-934-2004)

※様式は同所、市建築課(山口総合支所)に備え付け

日色ともゑとマリオネット「ほんとうのやまこぼれ」

【C・S赤れんが開館20周年記念事業】

日色ともゑさん(劇団民藝所属)の美しい日本語の朗読と、湯浅 隆さん(ポルトガルギター奏者)、吉田剛士さん(マンドリン奏者)によるアコースティック・デュオ「マリオネット」による心癒す音楽をお楽しみください。こんな時代だからこそ「ほんとうのやさしさ」を伝えたいのです。

【日時】 8月26日(日) 14時および18時30分開演(開場は各30分前)

【対象】 市民一般

【料金】 前売り…大人3500円、

第20回みんなおいでよ！親子ふれあいジャンボリー

◇日時 8月25日(土) 10時～15時
◇場所 県スポーツ文化センター(維新公園四丁目1-1)
※上靴・下足入れを忘れずに持ってきてください。

◆ドッジボール大会

【部門】幼稚園・保育園の部、小学校低学年の部(1～2年生)、小学校中学年の部(3～4年生)、一般の部(小学5年生以上)
※参加申し込みは締め切りました。会場で応援をお願いします。

◆市内の幼稚園・保育園年長児による絵画展・表彰式

「大好きなあそび」がテーマの絵を多数展示



とめ麻呂くん

◆エコのコーナー(とめ麻呂くん参上!)

自分で電気を作ってみよう!

◆ゲーム大会(スタンプラリー形式)

手作りのいろんなゲームに挑戦し、スタンプを集めよう!

◆子ども縁日・バザーコーナー

ジュース、わたあめ、焼きそば、スーパーボールすくい、くじ遊び、おむすびなど

◆遊休品コーナー

おもちゃや日用品など掘り出しものがたくさん!

◆餅・アメまきなど

◇問い合わせ 市こども家庭課(☎083-934-2797)

高校生以下2000円/当日…各5000円高
※エニ－会員は5000円引き

【託児】 有(8月19日(日)まで)に要申し込み

【所申】 C・S赤れんが(中河原町5・12 ☎0833・9288・6666)

市菜香亭の企画展

【懐かしい料亭菜香亭の写真展】

料亭菜香亭のころの懐かしい建物の写真を展示します。ぜひお越しください

【日時】 8月1日(水)～9月2日(日) 9時～17時
※火曜休館

【観覧料】 大人100円、子ども50円(大広間観覧込み)

【所申】 市菜香亭(天花二丁目2・7 ☎0833-934-3312)

第11回農・畜・林試験研究ウォッチング

県農林総合技術センターで行っている試験研究や担い手研修などを広く市民の皆さんに知っていただくため、施



近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

宇部市

山口宇部空港「空の日」記念フェスティバル

- 日時 9月8日(土) 9時から
- 場所 山口宇部空港(宇部市沖宇部625)
- 内容
 - ▽事前申し込みが必要なイベント
 - ANA・JAL 航空機写真撮影会、空港消防隊体験入隊、管制塔・気象施設見学会、ANA サイクリングツアー
 - ※締め切りは8月25日(土)必着。申込方法などは問い合わせ先に確認を。
 - ▽その他のイベント
 - 滑走路見学会(当日先着順)、ヘリによる救助・散水訓練見学、JAL お仕事体験パーク、プラモデルコンテスト投票、工作・塗り絵教室、彫刻ガイドツアーなど
- 問い合わせ 「空の日」実行委員会
 - (☎ 0836-21-5841)
 - ☞ <http://www.yamaguchiube-airport.jp/>

防府市

ロープウェイ夜間納涼運転実施

- 大平山ロープウェイでは、下記の期間、夜間納涼運転を行います。
- ロープウェイからの素晴らしい夜景をお楽しみください。
- 期間 8月11日(土)～14日(火) および8月18日(土)～9月2日(日)までの毎週土・日曜
 - 運行時間(夜間納涼運転実施日)
 - 上り…9時20分～20時40分
 - 下り…9時40分～21時
 - ※20分毎の運行です。定員を超える場合は、臨時便を運行します。
 - 乗車料金 大人…往復1,000円(片道600円) / 子ども(小学生以下)…往復500円(片道300円)
 - ※防府市外の小学校就学前の子どもは、保護者同伴の場合、保護者1人につき1人無料。
 - 問い合わせ 大平山ロープウェイ
 - (☎ 0835-38-0442)



市内の魅力を紹介します。

山口市

車えびの季節到来!!

夏休みの一大イベント「えび狩り世界選手権」で、すっかりおなじみとなりました、本市を代表する味覚のひとつ「車えび」。新鮮な素材を生かした料理をはじめ、えびの加工品が豊富に取りそろっていますのも、車えび養殖発祥の地「秋穂」ならではの。



車えび おいしそう♡



この夏、秋穂の民宿や食事処、道の駅に立ち寄って、えび料理を満喫してみませんか。

- 問い合わせ
 - 秋穂観光協会
 - (☎ 083-984-3741)

県人権ふれあいフェスティバル

家族で人権問題を考えてみませんか。(無料)

- 日時 8月25日(土) 10時～15時
- 場所 シンフォニア岩国(岩国市三笠町二丁目1-1)
- 内容 ふれあいコンサート(原田侑子氏)、講演「夢中になることの素晴らしさ」(佐々部清氏)、パネル展示等
- ☞ 県人権対策室
 - (☎ 0836-933-2810)

県産木材で夏休みの宿題を作ろう

県産木材を使って本立てを作ります。また、かんなげすりなど、大工の皆さんの技も披露されます。

- 日時 8月25日(土) 9時30分～12時(受け付けは9時から)

設を公開し、研究成果等の紹介や各種体験行事を行います。

- 日時 8月25日(土) 9時30分～16時(雨天決行)
- 内容(予定) 展示、親子パン作り体験、観察など
- ☞ 県農林総合技術センター(大内御堀1-4-19 ☎ 0833-927-7011)

肺の日記念市民公開講座

※電話による受け付けは、平日9時～17時

- 日時 8月1日の「肺の日」にちなみ、公開講座を開催します。事前の申し込み等は不要です。ぜひ、お越しください。
- 日時 8月11日(土) 11時～16時
- 場所 県健康づくりセンター(吉敷下東三丁目1-1)
- 内容
 - ・気管支喘息について…田中裕士氏(札幌せき・ぜんそく・アレルギーセンター理事長)
 - ・肺の病気アラカルト…國近尚美氏(山口赤十字病院内科部長)
 - ・肺がん検診について…松本常男氏(山口宇部医療センター副院長)
 - ・その他…肺年齢測定、喫煙・禁煙相談など

- ☞ 山口宇部医療センター
 - (☎ 08360-58-2300)

【今回のちょい旅データ】

えび購入
「道の駅あいお」
場所 秋穂東 1520-4

購入方法 事前に電話予約。
 (300円～600円/匹)

問い合わせ
☎ 083-984-5704

えびをゲット

調理&食事
「あかせビーチ
(キャンプ場)」

場所 秋穂中道 (中道海水浴場)

料金 車1台500円+300円×人数

問い合わせ ☎ 083-984-2610

※水道が使える、衛生的な調理が可能です。



「産地直送」→「産地直行」

中道の海を眺めながら
新鮮！車えび三昧



今が旬の車えび。ご存知のとおり、秋穂は車えび発祥の地です。今回のちょい旅レポートは、新鮮な秋穂の車えびを、育った秋穂の海で食すという、ちょっとぜいたくなオリジナルプランをご紹介します。

今回のメニューは
 車えびのおいしさを余すことなく楽しむため、3つの料理に挑戦です。
 まずは新鮮さをそのままいただく「刺身」。そして定番の「塩焼き」。また今回、キャンプ料理としては意外にもメジャーな「パエリア」に車えびを使い、豪華にアレンジしました。

●新鮮さを丸ごと堪能できる一押し「刺身」
 歯にはね返ってくる弾力と、ほのかな甘みが何ともいえません。

どの料理もおいしいよ！

いきのいい車えびを

うまい！

その場でパクリ

●えび料理の定番 シンプルな「塩焼き」
 殻の上から軽く塩を振り焼き上げました。塩味の後から感じるえび本来の甘みとプリプリの食感に感激の一品です。

●深い味わいの「車えび入りパエリア」
 タマネギと米を炒め、その他の具材を加えてスープで煮込み、約1時間で完成です。思ったより簡単ですよ。車えびのだしもほどよく、えびは柔らかくジューシーです。

この日、家族や仲間を引きつれ訪れたのは、中道海水浴場にある「あかせビーチ」。「道の駅あいお」で車えびを入手し、いざ海へ。ここはキャンプ場として水道施設も完備しており、パーベキューセットも借りることができ、見通しのよい海で、子どもたちを遊ばせながら、安心して調理することができました。

産地ならではの調味料
 子どもたちには、えびに触れるだけでもいい経験です。中道の美しい海で海水浴を満喫しながら、旬の車えびを堪能できるのも秋穂ならでは。この夏、複数の家族やグループで楽しんでみませんか。

生きたえびに驚き

問い合わせ 市経済産業部交流産業企画室 (☎083・934・2928)

揚げた鶏肉とゴボウの食感が絶妙で、たれの甘さも相まって、野菜嫌いの児童も食べやすい料理となっています。調理も簡単なので、ぜひご家庭でも作ってみてはいかがでしょうか。

表紙写真から
給食大好き!!本市発祥の家庭料理「チキンチキンごぼう」

表紙の写真は、7月5日の白石小学校での給食時間の様子です。

この日のメインディッシュは「チキンチキンごぼう」。子どもたちの好きな献立アンケートでいつも上位になっている定番の料理です。

やはり大人気で、おかわりをする児童が続出。皆笑顔でほおぼっていました。

チキンチキンごぼうは、大歳小学校で、1995年ごろ、給食に家庭のオリジナル料理を採り入れようと各家庭に募集。その時に応募された一品で人気が出たため、市の献立委員会に取り上げ、今や市内のどの学校でも人気のメニューになったという、本市発祥の家庭料理です。

大人気の定番献立「チキンチキンごぼう」



「ふるさとの味」各地域の郷土料理を紹介します

芋のくきのきんぴら(秋穂)

暑い夏を乗り切る
秋穂地域の元気食



～メモ～

秋穂地域のサツマイモの収穫時期は、7月下旬から11月までです。

サツマイモは、野菜の中で最も糖分が多く、ビタミンC・E、カリウム、食物繊維が豊富に含まれています。カロリーはジャガイモより低く、米の約3分の1です。

材料・分量 (4～5人分)

芋のくき	200g (正味)
塩	ひとつまみ
サラダ油	大さじ1
砂糖	大さじ2
塩	小さじ1
酒	50cc
みりん	大さじ1
一味唐辛子 (七味でも可、お好みで)	

作り方 [調理時間] 約 20分

- ① 芋のくきの皮を取り、適当な (3～4cm くらい) 長さ に切る。
- ② 切った芋のくきをたっぷりの水に塩ひとつまみを加えて茹で、ザルにあげる。(しっかり茹でないと固い)
- ③ フライパンにサラダ油を入れ、芋のくきを炒める。
- ④ A を加え水分がなくなるまで煮る。
- ⑤ 仕上げに一味をふり、混ぜる。

お話を伺いました



秋穂地区生活改善実行グループ
代表 福江香代子さん

●サツマイモの産地 秋穂

秋穂地域の夏は「酷暑」です。また、やせた砂地が多いため、葉もの野菜の栽培が難しい場所です。このような土地はサツマイモ栽培に適しているため、昔から栽培されてきました。

●夏場の貴重な野菜料理

この料理は、他に新鮮な野菜を入手しにくかった状況で、当時の方の知恵と工夫から生まれたものです。

●食欲のないときにぜひお試しを

芋のくきにあまりいい思い出がない方もいるかもしれませんが、ビタミンが豊富で食物繊維もたっぷり、シャキシャキの食感を楽しめる、おつまみにもぴったりの一品なんです。暑いからと、冷たいものばかり食べていると体調を崩します。食欲がないときにもおいしく食べられますので、ぜひ各家庭で作ってみてください。

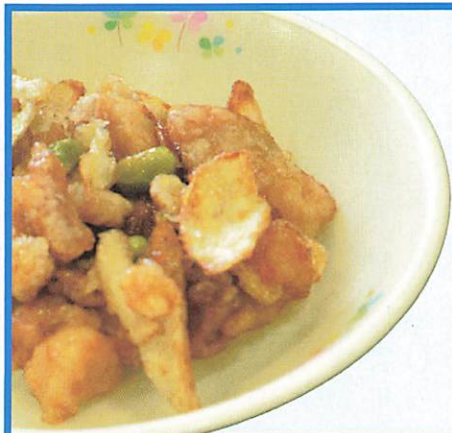
●一手間かけておいしく作りましょう

作り方①で皮を丁寧にむくこと、④でしっかり水分をとばすことがおいしく仕上げるコツです。お好みで花かつおをまぶしてもおいしいですよ。

道の駅あいお (右ページ参照) で芋のくきは入手可能です。

■問い合わせ 市農業振興課 (☎ 083-934-2815)

※郷土料理レシピ集「伝えたいふるさとの味」は各地域交流センター、各市図書館でご覧になれます。



■チキンチキンごぼうレシピ (4人分)

鶏もも肉	120g
ゴボウ	120g
かたくり粉	適量
揚げ油	適量
さやなし枝豆	12g

■たれ

砂糖	大さじ1杯
しょうゆ	大さじ1杯
酒	大さじ2分の1杯
みりん	大さじ2分の1杯

- 1 ゴボウを2～3ミリの斜め切りにして、10分程度水につけてアク抜きをする。
- 2 1.5cm 角に切った鶏肉と切ったゴボウにかたくり粉をまぶして油で揚げる。
- 3 鍋でたれを1回煮立ちさせ、鶏肉とゴボウを入れて絡ませる。
- 4 仕上げに、塩ゆでした枝豆を入れる。

